

令和5（2023）年度 運営会議 運営目的等

1 目的

市の障がい者福祉に関する課題のうち、行政で取り組むこと、協議会で取り組むことを整理し、協議会の方針を決める。

2 目標

①障がい者相談支援事業等で確認できた地域課題の解決に向けた取組の方針が、運営会議構成員内で共有されている。

②各専門部会及び検討チームが滞りなく運営されている。

③全体会で協議すべき内容及び優先順位が整理・共有されている。

3 取組内容

①について

- ・相談支援事業等（個別支援会議や事例検討会等）で確認できた地域課題の報告を基幹的相談支援センターから受ける。
- ・地域課題の解決に向けて、どのように取り組むか協議する。
- ・必要に応じて、他の機関・会議体へ働きかける。

②について

- ・必要に応じて、各専門部会等の運営についての協議・助言を行う。

③について

- ・各専門部会等の報告に加え、全体会構成員全員で協議を行えるような議題について検討し、決定する。

令和5（2023）年度 みよし市障がい者自立支援協議会 運営会議 年間計画表

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3							
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬					
全体会日程											28																								21						
会議日程	6			10			1			6			3			7			3			2			7			11			1			7							
①地域課題と方針の共有	☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆							
取組内容	相談支援事業（個別支援会議や事例検討会等）で確認できた地域課題の報告を基幹的相談支援センターから受ける。（毎月） 地域課題の解決に向けて、どのように取組むか協議する。（毎月） 必要に応じて、他の機関・会議体へ働きかける。																																								
②各部会・チームの進捗管理	☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆							
取組内容	必要に応じて各専門部会等の運営についての協議・助言を行う。（毎月）																																								
③全体会協議内容の整理							☆			☆								☆			☆											☆			☆						
取組内容	各専門部会等の報告に加え、全体会構成員全員で協議を行えるような議題について検討し、決定する。																																								
月ごとの取組内容	②部会の運営目的、年間計画等の確認。		①地域課題報告書を踏まえた取組についての協議。			②必要に応じて、部会等の運営について協議・助言。			①必要に応じて他の機関・会議体へ働きかける。																											①② 令和5（2023）年度の評価・令和6（2024）年度の取組について検討。					
						③協議内容の検討・必要な準備（依頼等）の確認。			③協議内容の確認。																											③協議内容の検討・必要な準備（依頼等）の確認。			③協議内容の確認。		
《留意事項》	<ul style="list-style-type: none"> 行政が取り組んでいることについても、適宜、情報提供する。 運営会議事務局は、各部会の打合せ等協力する。 																																								

運営会議

令和5（2023）年度 人材育成検討チーム 運営目的等

1 目的

障がい福祉従事者がソーシャルワークを意識して、業務に取り組めるよう

【みよし市におけるソーシャルワークの定義】

ソーシャルワークとは、人権と社会正義を大切にすることであり、社会に問題があれば社会を変え（社会変革）、人間関係に問題があればその問題を解決し、人々が本来持っている力（エンパワメント）をうまく引き出すことである。具体的には、人の行動と社会のシステム（仕組みと働き）に関する理論をうまく使い、人々が社会や環境と互いに影響しあうところに働きかけることをいう。

※引用：国際ソーシャルワーカー連盟のソーシャルワークの定義（意識）長崎和則

になる。

2 目標

- ①障がい福祉従事者がソーシャルワークの視点を意識できている。
- ②障がい福祉従事者同士のネットワークが強化できている。
- ③強度行動障害者を支援する事業者・支援者が増えている。

3 取組内容

①について

障がい福祉従事者を対象として地域診断表（事業所の意識・関わり）を意識できる研修を企画・開催する。

②について

- ・管理者同士がみよしの課題を共有できるようにするため、管理者向け研修を開催する。
- ・市内事業所職員同士が気軽に意見交換できる機会を設ける。

③について

他市町の強度行動障害児・者に対する支援について確認し、市内の実情に合わせた研修を行う。

令和5（2023）年度みよし市障がい者自立支援協議会 人材育成検討チーム 年間計画表

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
全体会日程											○											○													○	
協議日程	○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○			○		
人材育成検討チーム	障がい福祉従事者がソーシャルワークの視点を意識できている。														◎																			◎		
	取組内容	◎ 障がい福祉従事者を対象として地域診断表（事業所の意識・関わり）を意識できる研修を企画・開催をする。																																		
	障がい福祉従事者同士のネットワークが強化できている。											●																							●	
	取組内容	● 管理者同士がみよしの課題を共有できる仕組みづくりのため、管理者向け研修を開催していく。 業所職員同士が気軽に意見交換できる機会を提供する。 ■ 市内事																																		
	障がい福祉従事者が強度行動障害について理解を深められている。																																		◇	
	取組内容	◇ 他市町の強度行動障害児・者に対する支援事業の実情を確認し、市内の実情に合わせた研修を行う。																																		
	月ごとの取組内容	研修委員の依頼・発足 研修テーマの決定。						6/1 管理者向け研修に向けた内容を検討	管理者向け研修の開催																											
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修の実行委員として、市内事業所職員に協力を願う。 随時、他市町の強度行動障害児・者に対する支援事業の実情を確認する。 																																			

令和5（2023）年度 暮らしの場検討チーム 運営目的等

1 目的

障がい者（児）が、地域で生活できる仕組み（緊急時対応、住まいの場の確保等）を構築する。

2 目標

①緊急時の受入れ体制が整備できている。

みよし市障がい者自立支援協議会が定義する「緊急時」とは…
日中・夜間問わず、本人又は家族等では対応できないような緊急の事態。

②住まいの場の確保について、話合う場の設置や仕組みが構築できている。

③宿泊体験の場が確保できている。

3 取組内容

①について

- ・緊急時の受入れ体制の検証と評価を行う。課題が確認された場合は、修正する。
- ・新たな受入れ先を増やす為、受入れ方法について協議する。
新たな受入れ候補先：さくらの丘（（社福）あゆみ会）、ママハウス（（一社）キッズラバルカ）、障がい者等サポートセンター（福祉課）等

②について

- ・不動産業者や大家等と意見交換を行う。課題を探り、解決方法を検討する。
市役所各課、社会福祉協議会、相談支援専門員等と情報を共有していく。

③について

- ・宿泊体験の場が必要と思われるケースを相談支援専門員に確認する。
- ・体験の場について、他市町の取組みをヒアリングする。

令和5（2023）年度 みよし市障がい者自立支援協議会 暮らしの場検討チーム 年間計画表

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3								
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬						
全体会日程																																										
協議日程									15												19																		15			
①緊急時の受け入れ体制を整備ができています。									WG開催												WG開催																					
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の受け入れ体制の検証と評価を行う。課題が確認された場合は、修正する。 ・新たな受け入れ先を増やしていく為、受け入れ方法について協議する。新たな受け入れ候補先：さくらの丘（社福）あゆみ会）、ママハウス（一社）キッズラバルカ）、障がい者等サポートセンター（福祉課）等 																																									
協議日程			●			●			●			●			●			●			●			●			●			●			●			●			●			
②住まいの場の確保について、話し合う場の設置や仕組みを構築ができています。			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産業者や大家等と意見交換を行う。課題を探り、解決方法を検討する。市役所各課、社会福祉協議会、相談支援専門員等と情報を共有していく。 																																									
協議日程			●			●			●			●			●			●			●			●			●			●			●			●			●			
③宿泊体験の場を確保ができています。			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			事務局会			
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊体験の場が必要と思われるケースを相談支援専門員に確認する。 ・体験の場について、他市町の取組みをヒアリングする。 																																									
月ごとの取組内容				①登録状況を相談員に確認			①WG開催																																①WG開催	①来年度の目標、取組み内容等を検討する。 ②来年度の目標、取組み内容等を検討する。 ③来年度の目標、取組み内容等を検討する。		
《留意事項》																																										

暮らしの場検討チーム

令和5（2023）年度 地域生活支援拠点検討チーム 運営目的等

1 目的

障がいの重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための5つの機能を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい児（者）の生活を地域全体で支える体制を構築する。 ※地域生活支援拠点レポートより引用

2 目標

- ①地域共生ワークショップで出された企画を実現できている。
- ②地域診断表の8つの機能のレベルアップが図られている。
- ③地域診断表の様式が改定できている。

3 取組内容

①について

- ・ワークショップで出された企画のプロジェクトチームを立ち上げ、実現に向けて取り組んでいく。

②について

- ・暮らしの場検討チーム、人材育成検討チームの進捗状況を確認するために、定期的に情報共有をする。
- ・地域との連携を深めるため、地域の協議体に参画し、課題を共有する。
- ・市の重層的支援体制整備準備プロジェクトチームに参画し、地域共生ワークショップの後継事業を開催する。

③について

- ・全体会構成員と昨年度の地域診断表の評価を共有し、課題を明確化する。
- ・令和6年度からの様式改定に向けて、第1回全体会で構成員から意見を伺い、第2回の全体会で新様式案を提示。意見を伺い、第3回の全体会で決定する。

令和5（2023）年度みよし市障がい者自立支援協議会 地域生活支援拠点検討チーム 年間計画表

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
全体会日程										28												24												21		
協議日程																																				
地域生活支援拠点検討チーム	①地域共生ワークショップで出された企画を実現できている。					○					○																								○	
	取組内容	ワークショップで出された企画のプロジェクトチームを立ち上げ、実現に向けて取り組んでいく。																																		
	②地域診断表の8つの機能のレベルアップが図られている。						■					■	●																							
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●暮らしの場検討チーム、人材育成検討チームの進捗状況を確認するために、定期的に情報共有会議を開催する。 ■他分野を知り、障がい分野を知ってもらい、お互いの連携を深めるため、協議体に参加する。 市の重層的支援体制整備準備プロジェクトチームに参加し、地域共生ワークショップの後継事業を開催する。（時期未定） 																																		
	③地域診断表の様式が改定できている。											○																								○
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 全体会構成員と昨年度の地域診断表の評価を共有し、課題を明確化する。 令和6年度からの様式改定に向けて、第1回全体会で構成員から意見を伺い、第2回の全体会で新様式案を提示。意見を伺い、第3回の全体会で決定する。 																																		
月ごとの取組内容	①プロジェクトチームの参加の呼びかけを行う。	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ③全体会構成員に令和4年度の診断表の共有。改定に向けての調査	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ③全体会構成員に診断表の新様式案を共有、意見交換。令和5年度の評価を依頼	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ③全体会構成員に診断表の新様式及び、令和5年度の評価を共有。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議	①プロジェクトチーム打ち合わせ。 ②地域包括支援センターの各協議体に参加。	②地域包括支援センターの各協議体に参加。 ②情報共有会議			
留意事項																																				

令和5（2023）年度 児童部会 運営目的等

1 目的

障がい児の早期発見とライフステージに応じた地域での生活を支援するための協議及び事業を行うことにより、障がい児の福祉、保健、保育及び教育を実施する関係機関の職員及び家族の療育意識を高め、障がい児福祉の向上を図る。

2 目標

- ①市内保育園・幼稚園で過ごす発達の子どもの気になるお子さんについて実態を知り、課題を具体化できている。
- ②「みよし・つながりシート」のその先に続くリレーシートについて、必要性が確認できている。
- ③保護者支援を目的に、「語る場」が設置できている。

3 取組内容

①について

- ・乳児保育を担当している保育士へ実態把握を行うためのアンケートを実施する。
- ・アンケート結果から見えてきた課題に関して、解決方法を検討するために他市町の見学や研修などに参加する。

②について

- ・シートは園から小学校へ入学する際に活用される。「つながりシート」の先（小・中・高など）をつなげていくものが必要か検討する。
- ・他市町の情報に関する参考資料を集める。
- ・部会から出たシートの課題に関して、特別支援教育連携協議会に提案していく。

③について

- ・各所属機関が取組んでいる保護者支援の進捗状況を確認する。
- ・他市町の「語る場」の見学に行く。
- ・『ふたば』や『よつば』卒園児の保護者へヒアリングを実施する。

令和5（2023）年度 みよし市障がい者自立支援協議会 児童部会 年間計画表

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
全体会日程										28												24												21		
部会日程										4												7												5		
児童部会	①発達気になるお子さんについての実態把握									☆	☆											☆											☆			
	取組内容	乳児保育を担当している保育士への実態把握のためのアンケートを実施し、アンケート結果から見てきた課題に関して、解決方法の検討を行う。																																		
	②リレーシートの検討									☆													☆										☆			
	取組内容	シートは小学校入学時に活用しているが、その先への進学等に向けてリレーシートが必要かどうか検討を行う。 検討材料として、他市町の情報に関して参考資料を集める。 シートの課題に関して、特別支援教育連携協議会に提案していく。																																		
	③「語る場」の設置に向けた取組									☆													☆										☆			
	取組内容	部会構成員に保護者支援の進捗状況の確認を行う。 他市町の「語る場」の見学に行く。 『ふたば』『よつば』卒園児の保護者へのヒアリングを実施し、「語る場」について意見を聞く。																																		
月ごとの取組内容	①～④年間スケジュールに関して、助言機関と打合せ									第1回児童部会（4日） ①アンケート実施 ※連絡会の開催													第2回児童部会（7日）											第3回児童部会（5日） ※連絡会の開催		
《留意事項》	<ul style="list-style-type: none"> ・会議メンバーは議題によって調整する。 ・児童部会の会議日時については、年度当初に設定する（7月、11月、3月の第1火曜日の15時からとする）。 																																			

令和5（2023）年度 就労支援部会 運営目的等

1 目的

働く意思を持っている障がい者及び障がい者を雇用している企業または雇用しようとしている企業を支援するために、必要なシステムや事業等を協議・検討し、具体的に実施する。

2 目標

①就労の定着率が向上している。

②職場体験先が増加している。

3 取組内容

①について

- ・相談支援専門員、就労支援員に就労定着の実態調査を依頼する。
- ・前回調査と合わせ、みよし市の就労定着率を確認する。

②について

- ・職場体験冊子の配布先を把握する。
- ・職場体験冊子の配布先を訪問し、意見交換を行う。
- ・DVDの評価を行い、今後の活用方法を検討する。
- ・現状の職場体験先をリストアップし、職種を確認する。

令和5（2023）年度 就労支援部会 年間計画表

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
全体会日程												28															24												21
部会日程									19									○																		○			
①就労の定着率が向上している。						☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆															
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援専門員、就労支援員に就労定着の実態調査を依頼する。 前回調査と合わせ、みよし市の就労定着率を確認する。 																																						
②職場体験先が増加している。			☆						☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆			☆						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験冊子の配布先を把握する。 職場体験冊子の配布先を訪問し、意見交換を行う。 DVDの評価を行い、今後の活用方法を検討する。 現状の職場体験先をリストアップし、職種を確認する。 																																						
月ごとの取組内容	②ハローワーク、西三河北部障がい者就業・生活支援センター、商工会に配布依頼			②職場体験先のリストアップと職種の洗い出しを行う。			①就労定着実態調査を実施する。 ②障がい者雇用支援セミナーで冊子の配布、DVDの上映			①就労定着実態調査を実施する。 ②職場体験冊子とDVDの効果の検証と職場体験依頼の会社訪問			①就労定着実態調査を実施する ②職場体験依頼の会社訪問			①就労定着調査のまとめ。 ②職場体験依頼の会社訪問			②障がい者雇用支援セミナーで冊子の配布、DVDの上映説明			②職場体験冊子とDVDの効果の検証と職場体験依頼の会社訪問			②職場体験依頼の会社訪問、結果のまとめ														

令和5（2023）年度 精神保健福祉部会 運営目的等

1 目的

精神保健福祉の関係機関が連携し、精神障がい者が地域で安心して生活していけるよう、支援システムを構築する。

2 目標

①精神障がい者の地域生活を支えるためにピアサポートの力を活用できている。

②市の精神保健福祉の課題が集約できる体制ができている。

③こころのサポートガイド in みよしが改訂できている。

3 取組内容

①について

・ピアサポーターを養成・スキルアップできる学習会等の内容を検討する。

②について

・退院に関わる事例を取り上げ、医療と福祉の連携を検討する。
・精神障がい者等サポート事業のひきこもり支援連絡会に参加し、課題の集約を図る。

③について

・部会で内容を精査・改訂し関係機関へ配布、配置する。

令和5（2023）年度 みよし市障がい者自立支援協議会 精神保健福祉部会 年間計画表

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
全体会日程										28												24															21		
部会日程							28												25												28								
精神障がい者の地域生活を支えるためにピアサポーターの力を活用できている。	18			16			1			☆						☆			☆			10			☆			☆			☆			13			☆		
取組内容①	ピアサポーターを養成・スキルアップできる学習会等の内容を検討する。																																						
市の精神保健福祉の課題が集約できる体制ができている。	18			16			1			☆						☆						10			☆						☆			13			☆		
取組内容②	<ul style="list-style-type: none"> ・退院に関わる事例を取り上げ、医療と福祉の連携を検討する。 ・精神障がい者等サポート事業のひきこもり支援連絡会に参加し、課題の集約を図る。 																																						
こころのサポートガイドinみよしが改訂できている。				16	☆		1			☆	☆											10			☆			☆						13			☆		
取組内容③	部会で内容を精査・改訂し関係機関へ配布、配置する。																																						
月ごとの取組内容	①② 年間活動打合せ（事務局）	①②③ 年間活動打合せ（事務局）	①②③ 部会進行の打合せ（事務局） 第1回部会開催	①②③ 部会の振り返りと全体会報告準備（事務局）		① ピアサポーター養成の現状調査	② 検討事例の情報共有	③ こころのサポートガイド内容精査確認	① みよし市のピアサポーターの在り方検討	① ピアサポーター養成の周知啓発	① ピアサポーター周知啓発イベント検討	② 検討事例から課題抽出	①②③ 部会進行の打合せ（事務局） 第2回部会開催	①②③ 部会の振り返りと全体会報告準備（事務局）	① ピアサポーター周知啓発イベント準備	② 抽出された課題の整理	③ こころのサポートガイド配布箇所検討	① ピアサポーター周知啓発イベント開催	② ピアサポーター養成研修受講フォロー	③ こころのサポートガイド配布	①②③ 部会進行の打合せ（事務局） 第3回部会開催	①②③ 部会の振り返りと全体会報告準備（事務局）	① ピアサポーター養成の仕組み検討	② 医療関係者と課題解決検討	③ こころのサポートガイド効果検証														
《留意事項》	・ひきこもり支援連絡会に参加する（日程未定）																																						

精神保健福祉部会

令和5（2023）年度 医療的ケアさぼーと部会 運営目的等

1 目的

日常生活を営むために医療を要する状態にある児（者）（以下「医療的ケア児（者）」という。）及びその家族の住み慣れた地域での生活をサポートするために多職種が集まり、必要なシステムや事業などを協議・検討し、具体的に実施する。

2 目標

- ①医療的ケア児（者）を地域に知ってもらえている。
- ②医療的ケア児（者）の受入れ場所を確保し、緊急時等に備えることができる。
- ③医療的ケア児等コーディネーターWGを中心に、市内医療的ケア児者の課題整理を行えている。
- ④医療的ケア児（者）の対応可能な事業所等（保育・教育含む）の連携強化のため、各ライフステージで研修担当を配置し、研修会等を企画・運営ができている。

3 取組内容

- ①について
 - ・大規模災害を想定したシミュレーションを行う。
 - ・災害に備え準備をする。
- ②について
 - 医療的ケア児（者）の一時的な受入れについて、市内医療機関と年間の動きを共に計画し、協議の場を設ける。
- ③について
 - ・市内在住の医療的ケア児（者）が抱える課題の整理と情報共有と行い、部会に議題としてあげていく。
 - ・「医療的ケアが必要な方の情報ガイド」を豊田市地域自立支援協議会と今後の取り決めをしていく。
 - ・医療的ケア児等コーディネーターの役割を再度、明確化する。
- ④について
 - ・医療的ケア費給付事業利用者、学校教育課所轄の事業利用者対象の保育・教育の場での医療的ケアに対する知識・啓発を行う。
 - ・市内事業所や訪問看護ステーション対象の知識や技術を伝達できる研修を開催し、連携強化できる環境を作る。

令和5(2023)年度 みよし市障がい者自立支援協議会 医療的ケアさぼーと部会 年間計画表

	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3																																																		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																																																
全体会日程																												28																												24																												21
部会日程																												14																												○																												○
医療的ケアさぼーと部会	① 医療的ケア児（者）を地域に知ってもらふ。																												○	○																												16	○	3																								
	取組内容①	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害を想定したシミュレーションを行う。 ・災害に備え準備をする。 																																																																																		
	② 医療的ケア児（者）の受入れ場所を確保し、緊急時等に備える。																												○	○																												○	○	○																								
	取組内容②	医療的ケア児（者）の一時的な受入れについて、市内医療機関と年間の動きを共に計画し、協議の場を設ける。																																																																																		
	③ 医療的ケア児等コーディネーターWGを中心に、市内医療的ケア児者の課題整理を行う。																												○	○																												○	○	○																								
	取組内容③	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の医療的ケア児（者）が抱える課題の整理と情報共有と行い、部会に議題としてあげていく。 ・「医療的ケアが必要な方の情報ガイド」を豊田市地域自立支援協議会と今後の取り決めをしていく。 ・医療的ケア児等コーディネーター予算化に向け、役割を再度明確化する。 																																																																																		
	④ 医療的ケア児（者）の対応可能な事業所等（保育・教育含む）の連携強化のため、各ライフステージで研修担当を配置し、研修会等を企画・運営する。																												○	○																												○																										
	取組内容④	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア費給付事業利用者、学校教育課所轄の事業利用者対象の保育・教育の場での医療的ケアに対する知識・啓発を行う。 ・市内事業所や訪問看護ステーション対象の知識や技術を伝達できる研修を開催し、連携強化できる環境を作る。 																																																																																		
月ごとの取組内容	③予算化について福祉課と協議。 ④12日北中学校で在宅酸素について。	③WGを開催。	①シミュレーションの実施と振り返りを行う。 ②市内医療機関と打ち合わせ。 ④ライフステージごとの研修会打ち合わせ。	第1回部会開催。	③WGを開催。	②市内医療機関と打ち合わせ。	④市内事業所対象の研修会を開催。	第2回部会開催。 ②市内医療機関と打ち合わせ。 ③WG開催。		②市内医療機関との打ち合わせ。③WG開催。	第3回部会開催。 ②市内医療機関との打ち合わせ。	今年度の評価																																																																								
『留意事項』													<ul style="list-style-type: none"> ・部会員は議題によって調整する。 ・医療的ケア児等コーディネーターWGは学校教育課との連携を密に行う。 ・適宜予定の変更を行う。 																																																																							